

もっと知りたい、健康のこと。

静岡赤十字病院広報誌

2020年・新春号

vol.354

季刊発行

日赤News

しずおかクロス NAVI

いっそう信頼される病院を目指します

外来患者アンケートの集計結果のご報告

【特集】

自分のために、家族のために

認知症に強くなるろう

ほっとニュース

「台風19号」にかかる当院DMATの活動および
災害医療コーディネートチームの活動について

information

「糖尿病教室」のお知らせ

「腎臓病教室」のお知らせ

「赤十字講習会」のお知らせ

治療と仕事の両立を支援する
就労支援相談会

注目の
トピックス

今号のテーマ: 認知症

自分のために、家族のために 認知症に強くなろう

“人生100年時代”において避けては通れない大きな課題のひとつが「認知症」。すべての人が発症する可能性の高い病気だからこそ正しく理解しておくことが大事です。認知症専門医でもある、脳神経内科部長の小西医師にお話を伺いました。

教えて
ドクター
Q & A

脳神経内科 部長
小西 高志 医師

趣味はラグビー。学生時代から魅せられた競技に、現在はドクターとして医療面からサポート、マッチドクターとして試合に携わることも。「W杯をきっかけに、長男がラグビーに興味を持ってくれるようになりました」と笑顔で語ってくれました。

Q 認知症の発症に、性別による差はありますか？

A 性別に関しては女性の発症率が明らかに多い。理由ははっきりしていませんが、脳の特性とも、ホルモンの影響ともいわれています。特に「アルツハイマー型認知症」は女性に多く発症し、逆に「前頭側頭型認知症」「血管性認知症」は男性に多く見られます。

Q 認知症を予防するにはどうしたらいい？

A 残念ながら最大リスクである加齢は避けようがありません。もちろん、「脳血管性認知症」の危険因子となる喫煙や頭部外傷に注意したり、糖尿病や高血圧など認知症に関わる病気に注意し、生活習慣の改善を心がけることは対策として有効なのですが、認知症発症を直接予防するのは難しいことです。ただ、1986年に始まった「修道女研究 (Nun Study)」と呼ばれるアメリカの著名な認知症研究に興味深い報告があります。死後病理解剖された脳にアルツハイマー病の所見が認められた方のうち、1/4の方は、生前認知機能が正常に働いていたというのです。これには様々な要因が考えられますが、互いに存在を認め合う仲間がいたこと、また心に拠りどころとなる存在があり、精神的安定を得られていたことも重要なのではないかと考えています。



同じ「認知症」でも病型により特徴や進み方は様々

「認知症」とは、脳に起こる病気がやがてなどによって認知機能が低下して、日常生活に支障を生じている状態を指します。認知機能というものは、状況を判断して適切に行動するために必要な、記憶、実行機能、言語、計算などの脳の働きのことです。

認知症となる原因はアルツハイマー病や脳血管障害など様々です。原因によって衰える認知機能に特徴があるため、「アルツハイマー型認知症」「脳血管性認知症」などと分類され、それぞれ病状経過も対処法も大きく異なります(図1)。

多くの認知症には根本的な治療法がないのですが、中には治療によって認知機能が回復する認知症もあります。例えば発症の原因が、電解質異常やホルモンの異常、てんかんに伴うものなどである場合は、適切な治療によって健康な状態に回復できることがあります。正しく診断してもらうことは、治療可能な認知症を見逃さないためにもとても大事なのです。

安全な生活を送るために正しい対処と治療法を

根本的な治療法のない認知症でも、安全な日常生活を続けていく

ために行うべき対処法や治療法はたくさんあります。まず最も大事なものは、周囲が患者との接し方を工夫したり、生活環境を整えること。これは医療機関や地域包括支援センターなどが相談を受け付けています。

また例えば「アルツハイマー型認知症」では、記憶障害・意欲低下などを改善し、就労継続やリハビリ効果の向上に役立つ薬物が複数ありますし、一部では病気の進行自体を遅らせる効果も報告されています(使用する薬物は、病状や副作用の出力に応じて適切なものが選択されます)。「脳血管性認知症」では、脳梗塞や脳出血の再発予防が大切。当院では静岡市の脳卒中ネットワークを推進し、かかりつけ医と連携しながら診療を行っています。そのほか「レビー小体型認知症」「前頭側頭型認知症」といった脳神経内科疾患に限らず、脳神経外科、内科系の各専門科、精神科なども連携しながら専門的かつ全人的な診療を行っています。

認知症の割合は加齢とともに増えていき(図2)、やがて認知症を持つ方の方が多数派になりますから、認知症になっても安心して人生を全うできる社会を作ることとはとても大切。そのため健康なうちから認知症をご自身に関係のあるものとして関心を寄せていただき、正しい知識を持っていただくことが重要と考えています。

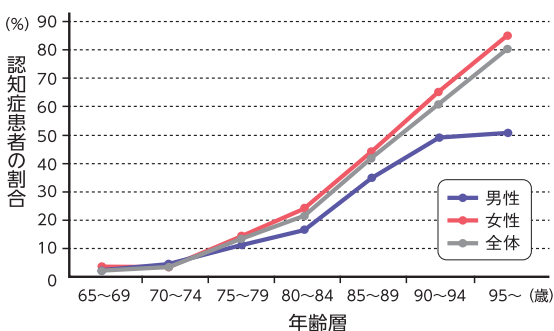
図1) 四大認知症の病型とそれぞれの特徴

	アルツハイマー型	血管性	レビー小体型	前頭側頭葉型
病変の進展	海馬 →頭頂部 →皮質全体	さまざま (特に前頭葉)	嗅球、延髄、腸管 →後頭葉 →皮質全体	前頭葉や側頭葉
初期症状	物忘れ 道迷い	思考緩慢 動作緩慢 カッとなりやすい まだら うっかり	幻視 RBD* 遂行機能障害 動作緩慢	我が道を行く 保続 失語 相貌失認
印象	健康そう	うつめ または怒りっぽい	自覚がある	指導に抵抗性
進行	治療薬はある 半年単位	再発予防性あり 再発で進行	意識状態が変動 薬剤への過敏性	数年単位で進行 緩徐→急な悪化

どこに病変があるかによって、症状の進み方や対処法、治療法は異なる。ただし、実際には複数の病型が重複して発症することも多い。

*レム睡眠行動異常症

図2) 年齢とともに認知症の割合が増えていくのがわかる



「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」(平成23年度~24年度)総合研究報告書より。

▶ INFORMATION

ハローワークが当院に出張します! 治療と仕事の両立を支援する 就労支援相談会

「離職中だが、治療を続けながら、もう一度自分に合った仕事をしたい」「今後体調に合わせた条件で働ける就労先を探したい」という患者さんに、ご希望を伺いながら、無料で求人情報の提供や就職支援を行います。

- 対象: 当院にてがん治療中の患者さんと、離職中または転職希望の方。※個人情報には遵守いたします。
- 日時: 令和2年1月28日(火)、2月25日(火)、3月17日(火) 各日13:00~、14:00~、15:00~
※1時間枠で1人ずつの予約制です。
※予約に空きがある場合は、当日直接お越しいただいた方のご相談もお受けします。
- ご予約・お問い合わせ:
当院 2号館1階 がん相談支援センター TEL.054-245-4311

表紙を飾った静岡赤十字病院スタッフ

薬剤師 (左から)
渡邊早也佳さん 山崎隆也さん 阿部純也さん



入院中の患者さんが安全かつ適切にお薬を使用できるよう、各病棟で医師や看護師などと連携しながら薬物療法のサポートを行なうのが「病棟薬剤業務」。渡邊さんと山崎さんは内科病棟、阿部さんは整形外科病棟にてそれぞれのチーム医療の一端を担う、期待の若手薬剤師です。明るくさわやかな笑顔に、こちらまで元気をもらえそう! 終始笑いの絶えない楽しい撮影でした。



「台風19号」にかかる当院DMATの活動および災害医療コーディネートチームの活動について

令和元年10月12-13日、列島各地に甚大な被害をもたらした台風19号。当院DMAT(災害派遣医療チーム)は静岡県より要請を受け、13日から県庁のDMAT災害対策本部にて活動を実施しました。当日の時点では県内医療施設に対して早急な支援の必要はないことを確認、また支援物資の必要時には日本赤十字社静岡県支部が対応するというので、本部活動縮小に伴いDMAT班も同日14時頃に帰院しました。



県庁のDMAT災害対策本部にて活動中のDMAT班(13日)

一方翌週10月23~25日には、医療ニーズのあった長野県に対し、日本赤十字社静岡県支部より災害医療コーディネートチームを派遣。「災害医療コーディネートチーム(CoT)」とは、被災地の保健医療ニーズを把握するとともに、救護班の活動等に関して医療の専門的観点から災害対策本部等での調整を担うことを目的に、平成25年から日赤本社および各支部に設置されているものです。

今回当院より派遣されたのは呼吸器外科部長 稲葉浩久医師、齋藤奈緒子看護師長、原田尚宏主事の3名。23日早朝に出発したチームは正午前に日赤長野県支部に到着、長野市保健所にて情報収集等の活動を実施。翌24日は同県支部に出向して情報交換及び調整を実施、さらに豊野西小学校にてこのころのケアのニーズ調査を行うなど、3日間の活動を終えて25日に無事帰着しました。



派遣前の決意表明。「3人で協力してがんばります」と稲葉医師(23日)



日本赤十字社長野県支部に到着(24日)



このころのケアのニーズ調査を行った豊野西小学校(24日)

INFORMATION インフォメーション

「糖尿病教室」のお知らせ 15:00~

糖尿病について(糖尿病専門医・村上医師)… 1/10(金) 2/7(金) 3/6(金)
やむを得ない都合等により中止となる場合がありますのでご了承ください(電話でお問い合わせください)

検査・運動について(臨床検査技師・理学療法士)
… 1/17(金) 2/14(金) 3/13(金)

食事・薬について(管理栄養士・薬剤師)… 1/24(金) 2/21(金) 3/19(木)

網膜症・日常生活について(視能訓練士・看護師)
… 1/31(金) 2/28(金) 3/27(金)

糖尿病教室食事会 11:30~ … 1/22(水) 2/19(水) 3/18(水)

申し込み・お問い合わせは、2号館栄養課まで
TEL.054-254-4311(代) / 内線3103 当院に受診されている方が対象となります。

「腎臓病教室」のお知らせ 15:00~

腎臓病の食事 … 2/25(火)

場所:2号館4階 第1会議室
これから病気が気になる方もご家族の健康に不安をお持ちの方もどなたでも無料で受講できます。直接会場へお越しください。

「赤十字講習会」のお知らせ

災害時高齢者生活支援講習… 2/4(火) 13:30~15:30
被災した高齢者の避難所生活を支援するための知識や技術を学びます。

日本赤十字社静岡県支部ホームページからお申し込みください。

暮らしに役立つ情報をおとどけしずおかクロスNAVI

いっそう信頼される病院を目指します 外来患者アンケートの集計結果のご報告

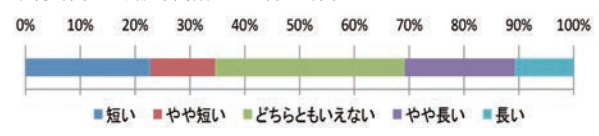
このたび当院では、医療サービスの向上を目的とし、外来患者さんを対象にアンケート調査を実施いたしました。多くの皆様のご協力を得て、貴重なご意見・ご要望を頂くことができました。誠にありがとうございます。簡単ではございますが、ここにアンケートの集計結果の一部をご報告いたします。

またこのほか、自由記載欄ではあたたかいお言葉をたくさんいただき、とても励みになりました。さまざまな指摘・ご意見は真摯に受け止め、改善に向けて努力してまいります。

今後も患者の皆さまから信頼される病院、社会に貢献できる病院を目指してまいりますので、何卒よろしくお願いたします。

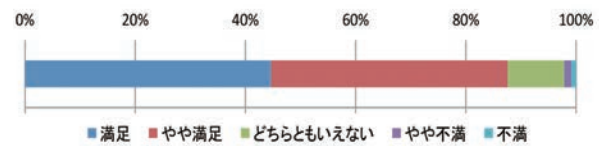
●待ち時間について

予約時間から、診療開始までの待ち時間は



●その他全体的なことについて

当院について総合的にはどう思われますか



調査日:令和元年10月16日(水)・17日(木) 調査対象:当日来院外来患者 有効回答数:498枚